

はたらくきずな



市政いきいき講座で 「ユニバーサル就労」

富士市が市の事業や専門知識を「講座」形式で紹介する「市政いきいき講座」のメニューに「ユニバーサル就労」が加わりました。このほど、初めての講座が市内今泉のシニア&子どもカフェ「遊」で開かれ、シニア世代を中心におよそ30人が参加しました。市生活支援課の松葉剛哲さんの説明を聞いた後、分かりにくい点などにさまざまな質問が出ていました。

「市政いきいき講座」は現在96のメニューが用意されています。健康・福祉、まちづくり、市民生活、市政、教育文化、生活安全、環境の7つのジャンルに分かれ、「ユニバーサル就労」は健康・福祉ジャンルの1講座として計画されました。

開催会場のシニア&子どもカフェ「遊」は、ふだんは子どもたちの歓声も響くスペースです。この日は手打ちそばを食べに来たシニア世代を中心に、ユニバーサル就労に関心を持つ市民が集まりました。参加者からは支援を必要の人と支援する人の人的つながりの大切さをどう維持するか、外に出たがらない引きこもりの人がどのように働くことができるのかなど具体的な質問も出て盛り上がりしました。

（講座の様子を4面に掲載しました）

令和元年度は15億円余 富士市のユニバーサル 就労関連予算

令和元年度の富士市ユニバーサル就労推進事業関連予算は、前年度より2億8500万円余り増額して15億3600万円余となりました。生活支援課などが実施する主体事業はほぼ前年並みですが、市が雇用する就労困難者の事業拡大や、これまで40歳未満の若者を対象に実施してきたキャリアデザイン力の向上のための職業理解の取り組みを子育て世代の女性やシニア世代まで広げることなどが含まれています。

事業は前年同様42事業。生活支援課などが実施する主体事業は14事業で、協力企業の開拓（受け皿開拓）事業に980万円余、生活保護受給者などに不足する就労に必要な知識・技能を補うための支援に980万円余、就労困難者就労支援事業に810万円余など、合わせて4200万円余。福祉こども部が実施する関連事業は11事業14億2400万円余。母子父子家庭の母親等が就労のための学習中の生活費補助に1700万円余、就職を希望する障害者の自立訓練や就労移行支援などに3600万円余などで、職業訓練給付費等の支給額13億円余りも含まれています。福祉こども部以外が実施する関連事業は15事業約

7000万円。農政課が実施する障害者雇用を行っている植物工場や農業法人誘致のためのPR活動などが含まれています。また、国・県との連携事業も2事業予定しています。

主体事業と本年度の事業内容は表のとおりです。

令和元年度 ユニバーサル 就労推進事業二覧 主体事業

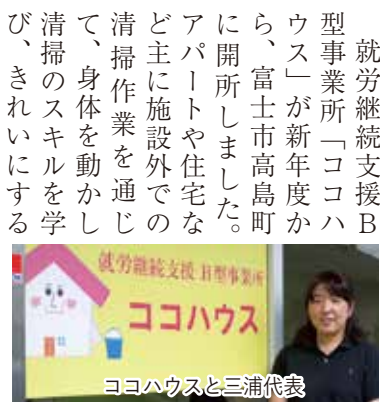
No.	事業名	令和元年度事業内容
1	就労準備支援事業	生活保護受給者及び生活困窮者に不足する就労に必要な知識・技能等を補うための就労に向けた準備支援を行う。
2	就労困難者就労支援事業	就労困難者に対し、アセスメントやキャリアカウンセリングを行い、個々の適性に合わせた就労支援を実施するとともに、就労支援者をセンターへ繋ぐため、各種相談窓口を定期的に訪問し、連携強化を図る。
3	協力企業等開拓事業 （受け皿開拓）	就労困難者に多様な働き方を提供できる企業等を調査・訪問し、協力いただける事業所を開拓し就労・就職に繋げる。
4	協力企業等支援事業 （支援付就労）	ユニバーサル就労に協力いただいた事業所での雇用継続のため、就労者や事業所に対する相談、支援を行う。
5	市民ネットワーク 推進事業	ユニバーサル就労の考え方をより多くの市民及び企業等に理解していただくための周知・啓発を行うとともに、ユニバーサル就労に積極的に取り組む事業所、団体等を顕彰し、広報紙等で紹介する。
6	ユニバーサル就労支援に 係る臨時職員人件費	プロジェクト受託事業者（No2～4）と連携した企業訪問及び就労困難者への支援等を行う。
7	ユニバーサル就労推進 協議会運営事業	ユニバーサル就労に関連する行政、事業者、事業者団体等による協議会を、年2回開催する。
8	ユニバーサル就労 顕彰事業	ユニバーサル就労に積極的に取り組む事業所、団体、個人を対象とし顕彰を行う。令和元年度は、協力企業の会社概要をユニバーサル就労広報室のHPで紹介する。※No.5 市民ネットワーク推進事業で実施
9	パイロット事業所 指定事業	就労困難者の雇用を実験的に行う協力事業所を選定する。ステップアップの過程における工夫や課題などの情報を共有・公開し、他の事業者の参入を促す。
10	地域活動支援事業	地域の行事、清掃、見守り等で不足する人手等のニーズを把握する。就労困難者の中間就労の場として活躍するためのマッチング等について検討する。
11	窓口相談システム 導入検討	各相談窓口と連携し相談者の特性にあった支援に繋げるため、各相談窓口連絡会を定期的に開催し、それぞれの支援機関が実施する支援内容の理解等を進め、各相談窓口のネットワーク強化を図る。
12	ユニバーサル就労優良企業 税制・補助等研究	企業ニーズを研究し、就労困難者雇用促進のインセンティブ（補助金・税制度等）の必要性、効果、あり方等について検討する。
13	ハローワークとの 協定見直し・拡充	ハローワークの上部機関である静岡労働局と市との間で締結した雇用協定に基づき事業計画を作成し、ハローワークと市が連携して雇用施策に取組むとともに、ハローワークと市で雇用対策協定運営協議会を定期的に開催し、事業の拡充を図る。
14	ユニバーサル就労支援事業 進捗状況管理事業	ユニバーサル就労主体事業及び関連事業の進捗状況を管理し事業の推進を図る。

新委員長に小池智明議員 市議会ユニバーサル就労 推進特別委員会

富士市議会の改選に伴うユニバーサル就労推進特別委員会の新委員が決まりました。

委員長は小池智明議員、副委員長は山下いづみ議員で、その他の新委員は石橋広明、太田康彦、遠藤盛正、一条義浩、鈴木幸司、井出晴美の各議員です。

ココハウスが 高島町にオープン 就労継続支援B型事業所



就労継続支援B型事業所「ココハウス」が新年度から、富士市高島町に開所しました。アパートや住宅など主に施設外での清掃作業を通じて、身体を動かしながら、きれいにすることの喜びと達成感を感じてもらうのが特徴です。

対象は身体・知的・精神・難病の障害を抱えながらも、一般就労を目指す方々です。施設内での作業も箱折りや箱詰め、製品検査、組立作業などが用意され、一人ひとりの特性や体調などに応じて作業に取り組みます。

代表理事で施設長の三浦美保さんは「清掃作業は身体全体を動かすので仕事の後の達成感も大きい。ニーズはいろいろあるし、どこでも通用するのでスキルアップして一般就労に結びついていってほしいことを目標に頑張りたい」と話していました。

利用時間は平日の午前10時から午後3時まで（実働4時間）。

●お問い合わせ ココハウス
0545・50・9008

市内の就労支援機関はこんなお仕事しています！

第1回

障害者就業・生活支援センター チャレンジ

全国で初めてユニバーサル就労推進条例を制定した富士市には、さまざまな働きづらさを抱えた市民の相談にのったり就労を支援する窓口がいくつかあります。それぞれの窓口はどんな市民を対象にどんな仕事をしているのか、シリーズで紹介していきます。第1回は障害者就業・生活支援センターチャレンジです。



児童たちの明るい声が校庭いっぱいに響き渡る吉永第一小。チャレンジはその東側、道一本を挟んだ隣りにあります。室内にはさまざまな企業からの求人案内が壁いっぱいに張られ、今、どんな人材が求められているかが一目で分かります。木村清子センター長は「今は求人が多い時期。障害者の雇用率が高くなって以来、企業からの求人は増えました」と話します。

「障害者就業・生活支援センター」は障害のある人の仕事に関すること、生活に関する事を一体的に支援する専門機関です。対象は知的・身体・精神・高次脳機能・発達などの障害を抱える全ての人で難病の方なども含まれます。圏域は富士市と富士宮市の2市だけで県内では最もコンパクトなセンターです。

チャレンジが創設されたのは平成18年です。当初は富士宮市にも近い市内曾比奈にありましたが、その後交通の便のいい現在地に移りました。就業・生活支援ワーカーは現在、木村さんを含め男性3人、女性2人の5人です。登録者は5月末で約700人、うち500人は働いています。一方、人材を求める側は約450の会社・事業所が登録していますが、この中には市内の大手企業や学校、スーパーなどが含まれます。就職者はこのところ増加傾向で、平成30年には73人と過去10数年来最多を記録しました。

チャレンジは就職と生活を一体として支援するのが特徴で、ハローワークや障害者職業センター、市町村、福祉事務所、各地の相談支援センター、就労移行支援事業者、医療施設、ジョブコーチ、特別支援学校などと連携して障害者の就業と

それに伴う日常生活に関する指導・助言・職業準備訓練のあっせんなどを行っています。

木村さんは「就労支援だけでなく生活支援も一体で、と求められます。このためビジネスマナーや社会性、倫理性などを育てよう指導しています。職業訓練もB型事業所なども含めて施設外の作業を通じて工賃をもらうことなどで喜びを感じ、福祉としてでなく一般就労として多くやっていただけるようになれば嬉しいですね」と話していました。

- 富士障害者就業・生活支援センターチャレンジ
- 住所：富士市比奈 1481-2
- 電話：0545-39-2702
- 時間：平日午前8時半～午後5時半



展示したのは市内の協力企業（5月14日現在104社）のうち約60社。住所や従業員数、事業内容などの会社概要、経営理念や「我が社の自慢」など会社のセールスポイントを掲載しました。

今年1月に開かれたユニバーサル就労講演会の際、掲示したところ、来場者から好評だったため、あらためて展示会を開きました。2回目の展示を来年1月に市役所2階市民課ロビーで開く予定です。



ユニバーサル就労に協力していただいている企業を紹介するパネル展示が、このほど富士市立中央図書館本館エントランスで開かれました。

協力企業のパネル展示
富士市立中央図書館で

支援センターから



就労支援員
鈴木 篤 さん

「富士市ユニバーサル就労支援センター」が開所して3年目を迎えました。議会、行政そして市民が共に協力している全国初の取り組みに、当初我々支援員も手探り状態といった一面もありました。現在利用者さんも100人を超え、協力企業になってくださった事業所も100社を超えるという成果の基に、更なる拡充を目指して日々活動を続けております。

利用者さんはそれぞれの「働きづらさ」を抱えて来所されます。センターの利用を通して働きづらさを把握し、希望する仕事に就けるよう企業とのマッチングに支援員皆で取り組んでおります。しかしベストなマッチングのためには企業の業種、職種、数とも決して十分とは言えません。これからも多くの企業を訪問させていただき、賛同してくださる企業の拡充に努めたいと思います。

新しく迎えた「令和」の時代にすべての富士市民が安心して働くことができるように、そして広く社会にこのような仕組みが広がりますよう誇りを持ってこの仕事に取り組んでまいりたいと思います。

「市政いきいき講座」 30人が参加

ユニバーサル就労をテーマにした初めての「市政いきいき講座」(ユニバーサル就労っていったい何のこと?)には男女ほぼ半々のおよそ30人が参加しました。関心のある市民が多かったせいか、ユニバーサル就労という言葉も大半が知っていました。

市生活支援課の松葉さんはパワーポイントを使い、ユニバーサル就労の概念や働きづらさの内容、支援を受けるための手続きや支援を受けて就労に至るまでの手順、口コミで広めてもらいたいとの希望などをわかりやすく説明しました。

この後行われた質疑では、市民にとっては、支援員が人事異動など仕事の都合で離れてしまうことを心配しているということについて



ユニバーサル就労の チラシを市内の全戸に

富士市ユニバーサル就労広報室は、市内のユニバーサル就労相談窓口が一目でわかるチラシを作成して富士市内の全戸に配布しました。チラシは「相談から始まる仕事さがし」を主テーマに、市内8つの窓口を紹介しています。

取り上げられているのは「ハローワーク富士」「富士市シルバー人材センター」「f きやる」「内職相談」「ココ☆カラ」「チャレンジ」「くらし・しごと相談窓口」「富士市ユニバーサル就労支援センター」の8つ。裏面にそれぞれの所在地、開設時間、電話・メールを掲載しています。6月5日付けで市内全戸に配布しました。



..... お詫び

チラシの裏面のメールアドレスのうち、チャレンジとくらし・しごと相談窓口のメールアドレスに誤りがありました。お詫びいたします。

正しいアドレス

チャレンジ: shuugyou-seikatu@seishinkai.info

くらし・しごと相談窓口: kurashi-shigoto@fujishishakyo.com

て、複数の支援員が情報共有することで対応したいとの回答があったほか、ハローワークやシルバー人材センターでの求人・求職活動との違い、表面的には見えにくい障害を抱える人に周囲がどう対応したらよいのか、引きこもりの人が社会参加するためにどうする

かーなど活発な質問と意見が出されました。市生活支援課では市内の他の地域・団体にも講座を開いてもらえるよう呼び掛けています。10人以上の参加が見込まれる団体やサークルで関心がある市民は、市生活支援課 ☎ 55・2886へ。

サポーター登録のおねがい

富士市のみんなでユニバーサル就労を育てよう! サポーターに登録された方には、月1回程度のメルマガ情報、年4回の情報紙の情報提供をしています。登録料・年会費は無料、口コミやシェアなど様々な方法でユニバーサル就労の広報・周知にご協力をお願い致します。

●Web から

HPの登録フォームに記入、送信して下さい。
HP: <http://f-uw.com>

●申込用紙から

「ユニバーサル就労サポーター募集リーフレット」に申込書が添付されています。(ご希望の方には郵送いたします。)



サポーター数: **440名** (5月末現在)

読者の意見・提案募集

富士市ユニバーサル就労広報室は、読者のご意見やご提案を募集しています。

〒416-8558 富士市本市場 432-1
フィナンセ東館1F
富士市ユニバーサル就労広報室
TEL: 0545-32-7009
Email: f-uw@machi-yumin.com



facebook twitter も
チェックしてみてね!



■ 4月の有効求人倍率 (ハローワーク富士管内): **1.43倍** 前月比 **-0.25ポイント** 前年比 **-0.26ポイント**
(有効求人倍率が1.4倍台となったのは22か月ぶり)